

# 京都府水道事業広域的連携等推進協議会 令和4年度第1回幹事会 開催結果

## 1. 日時・場所

### <南部>

令和4年5月30日（月）午後1時から3時  
京都市上下水道局総合庁舎 大会議室4-2

### <中部>

令和4年5月25日（水）午後3時から4時30分  
京都府南丹広域振興局園部総合庁舎 第1会議室

### <北部>

令和4年5月24日（火）午後2時から4時  
京都府中丹広域振興局中丹東保健所 講堂

## 2. 出席者

別添名簿のとおり

## 3. 概要

### (1) 京都水道グランドデザイン改定（検討案）の概要について

- 事務局（府公営企画課）から、資料1に基づき、京都水道グランドデザイン改定（検討案）の概要について説明。本案は、現時点までの検討内容を取りまとめたものであり、本会議での意見や今後の検討・協議等を踏まえ加筆・修正等を行っていくことを確認した。

### (2) 今後の進め方等について

- 事務局から、資料2に基づき、京都水道グランドデザイン改定スケジュールについて説明。今後、各段階で市町村水道事業連絡会議及び広域的連携等推進協議会等を開催し、令和4年度末の京都水道グランドデザイン改定に向けた協議を進めていくことを確認した。

### (3) 主な意見等

#### <南部>

- 広域化シミュレーションについて、府営水道を含めた南部圏域全体の検討も必要と考えるため、京都水道グランドデザイン改定後のことも含め、今後の検討の進め方・考え方について記載しておくべきである。
- 広域化シミュレーションについて、広域化効果の考え方や結果に対する分析・考察をもう少し丁寧に記載するとともに、施設の統廃合のシミュレーションは、京都府が独自に一定の条件で行ったものであり、実際にこれらの施設の統廃合計画があるわけではないことをもっと強調するなど、記載方法を工夫いただきたい。
- 市民等にとって誤解を招かないような記載や説明内容とすべき。

<中部>

- 人口の減少に伴う収入減少や人材不足は喫緊の課題であり、解決策の一つとして、広域的な取組を検討しなければならないと考えている。
- 水道に限らず、今後、隣接市町や他府県も含めて、広域的な連携事業は積極的に進めたいという意向は持っている。
- 人材が不足する中、民間委託は必要であるが、一方で発注側がいかに技術力を維持していけるのかが課題と考えている。
- 技術職の退職に見合う採用がなく人材が不足している。府には技術研修の強化等、人材育成に対する支援をしてもらいたい。

<北部>

- 広域化に対する府のスタンスを再確認したいとの意見があり、京都府から、府は広域化・広域連携の検討を進めていくにあたってリーダーシップを発揮し、地域の実情に応じて各事業体が選択した取組を支援していく立場である旨の説明を行った。